

ISSI2014: 国際ワークショップ  
社会のイノベーションを誘発する情報システム  
Session6 産学イノベーション対話プログラム(H26.2.5)

# イノベーション対話促進プログラム 活動報告

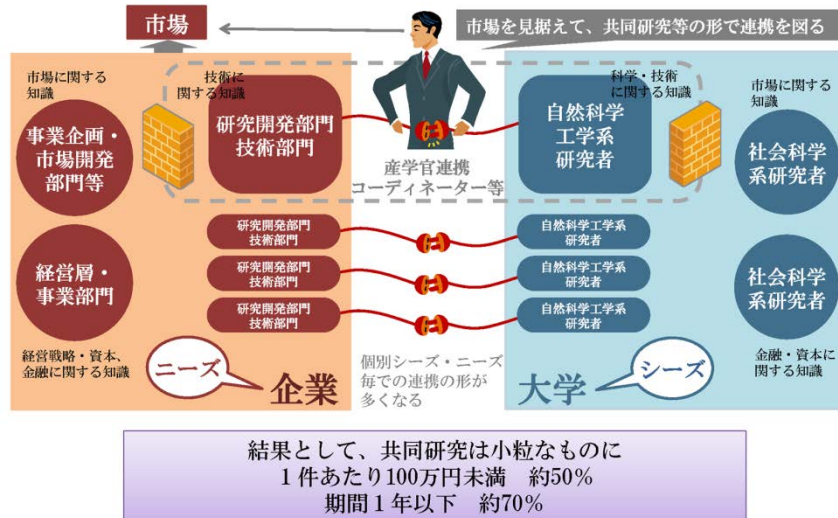
国立情報学研究所

総務部企画課社会連携推進室

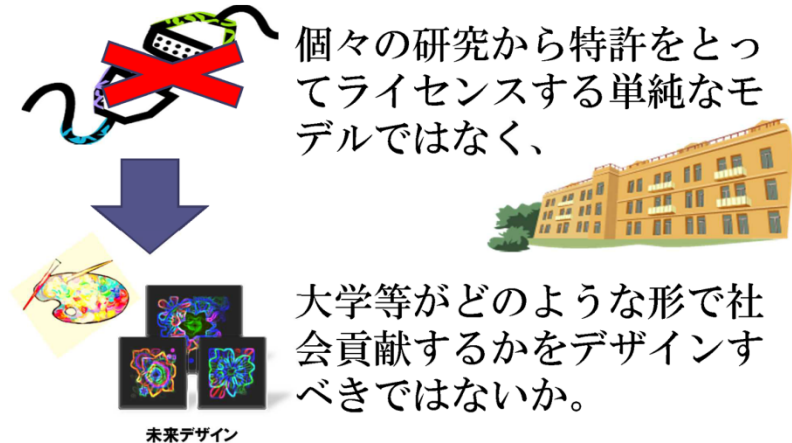
連携支援チーム係長 浅野 秀明

# イノベーション対話促進プログラム(以下「本プログラム」)とは

## 従来の産学連携のイメージ図



## 成果の社会への提供のあり方



7

- 文部科学省が産学連携方策の転換を実施した。
- シーズ⇔ニーズ間のマッチングによる、知財創出から、多種多様な人々の連携・参加による「未来像」からのバックキャスト方式による、イノベーションの創出へ

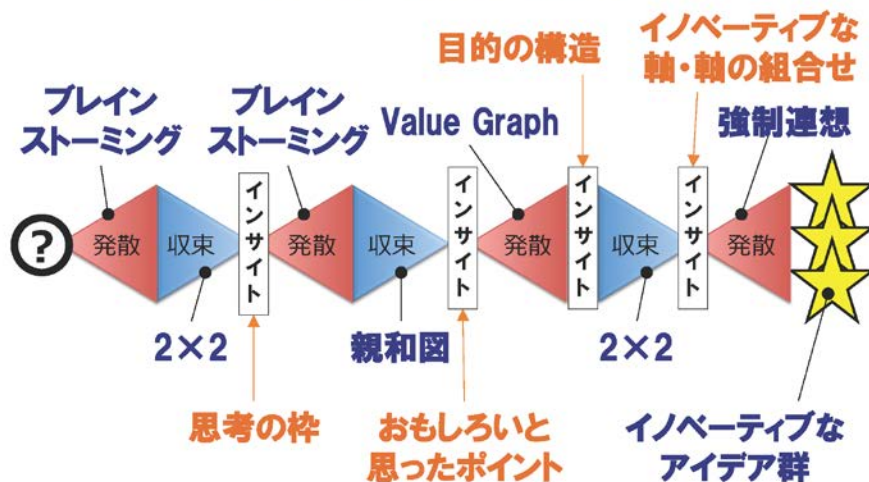
大学等にイノベーション創出システムを構築し、産学官を超えた連携を自律的・持続的に行う事

# 文部科学省からの指示

- 文科省が「イノベーション対話ツール」を慶應義塾SDM(システムデザインマネジメント研究科)へ開発委託
- 各機関は文科省版・独自版・文科省＋独自版のいずれかでイノベーション対話を実施すること
- その内容を報告書として提出(H25.8.15～H26.3.31)
- 本プログラムは対話手法作成の成功よりも、イノベーション対話の土壌作りを中心に据える。


## 文科省イノベーション対話ツールの基本的な流れ

### ワークショップの流れ



- 単独より**集合知**(皆で考えた方が新たな解が見つかりやすい)
- 他人の解に**乗っかって**上位の解を！
- ファシリテータが発散を盛り上げつつ、うまく収束に移せるかが鍵。
- 手法としては**目新しいものではない**
- **専門家だけの議論ではなく、門外者の意見をポジティブに扱えるか**

## 国立情報学研究所での取組

- 採択全30期間中、大学共同利用機関法人としての対話手法を検討
  - 全国の大学等機関のイノベーション対話をサポートする仕組みを構築したい！！（情報学・統計数学の知見を加えて）
  - 対話の場自体は、大企業では昔から取り組んで来た。今更「デザイン思考」でもあるまい・・・。
  - 約半年という期限内で、何をアウトプットするか→3本柱で
    - ① ICTを用いたクラウドソーシングの実施（田中先生）
    - ② SNS (Facebook) とFace to Face を融合・対比させたイノベーション対話システムのプロトタイプ構築（曾根岡様）  
（ビジネスモデルキャンパスを使用）
    - ③ 先進事例であるNSFのI-Corpsを調査し、効果的なイノベーション対話の実施方法について検討。（今井先生）
- 

# キックオフワークショップ(9/30-10/1 於: 軽井沢セミナーハウス)

【9月30日(月)】

1. 概要・方向性等の説明  
曾根原 登(実施責任者: 情報社会相関研究系主幹・教授)
2. 津田 俊隆(シニア・ファシリテーター: 早稲田大学教授)
3. VCP-NET(価値創生プロセス実践知開発ネットワーク)の趣旨, 活動の経過  
林 利弘(林技術士事務所)  
吉澤 正孝(クオリティ・ディープ・スマーツ有限責任事業組合代表)
4. SINETと学認事業の紹介  
武川 利代巳(事業担当事務責任者: 総務部企画課長)
5. スマートフォンアプリ開発全国学生コンテスト紹介  
小坂 武史((株)イノベーションプラス)
6. 新しい時代の学習支援方法の探索  
孫 媛(情報社会相関研究系准教授)
7. Innovation: Creativity & Collaboration 及びNSF I-CorpsとLean LaunchPad  
今井 和雄(研究戦略室特任教授)

8. イノベーション対話促進プログラムとイノベーション創出機能強化作業部会の審議状況について  
浅野 秀明(総務部企画課社会連携推進室連携支援チーム係長)
9. Crowdsourcingの紹介  
田中 優子(特任研究員)
10. ビッグデータアナリティクスに群衆の力で挑む  
森下 正次郎(インフォコム株式会社データサイエンス事業統括マネージャー)
11. プライバシーバイザー  
越前 功(コンテンツ科学研究系准教授)

【10月1日】

12. 全体討議

運営補助・議事録作成等

国崎 みちる(曾根原研究室技術補佐員)

長谷川 皓子(総務部企画課社会連携推進室連携支援チーム事務補佐員)



# 第1回ワークショップ(11/22-11/23 於: 軽井沢セミナーハウス)/

【9月30日(月)】

1. イノベーション対話促進WSに関連する文科省等の動向とイノベーション対話促進プログラムキックオフWSの報告  
浅野 秀明
2. イノベーション対話促進プログラムとICTSFCCとの合同WS開催報告と文科省科学技術人材育成コンソーシアム、スーパーグローバル大学等新規プログラムの紹介  
曾根原 登
3. 富士通研究所と早稲田大学との経験からの産学イノベーション対話提案への期待  
JSPS産学連携から日本学術会議への災害に強いICTイノベーションについての提案  
津田 俊隆(早稲田大学教授・国立情報学研究所客員教授)
4. オールジャパンCOIに対する大学への要望: NTT研究所の研究成果の事業化例からの教訓  
花澤 隆(NTTアドバンステクノロジー代表取締役社長)

8. イノベーション創出を目指した共創基盤の提案  
曾根岡 昭直(NTTアドバンステクノロジー株式会社理事)
9. 検診ビッグデータ共有コンソーシアム  
畠山 豊(高知大学医学部准教授)
10. NSFの産学イノベーションの動向  
今井 和雄
11. クラウドソーシングの実証実験計画・クラウドソーシングのシステム機能や要件  
田中 優子(特任研究員)
12. プライバシーバイザーを題材とした産学イノベーション対話  
越前 功(コンテンツ科学研究系准教授)

【10月1日】

12. 全体討議

運営補助・議事録作成等

国崎 みちる(曾根原研究室技術補佐員)

小泉 朋(総務部企画課社会連携推進室最先端研究開発支援チーム事務補佐員)



## 今後の予定

- いよいよ対話の「在り方」から「実践」へ
- H26.2.20(木)14:00～17:00(於:国立情報学研究所)  
Face to Face によるビジネスモデルキャンパスを用いた議論の実施  
→参加者大募集中:kaken@nii.ac.jp までご一報を  
(ささやかですが、交通費・謝金をお支払します)  
その後も是非、Facebookを利用したイノベーション対話  
にご参加ください。
- H26.3.3(月)ー4(火)  
1泊2日にて、今までの議論の総括。及び今後の発展に  
向けた対話を実施します。(於:湘南国際村(神奈川県  
葉山町)交通費・謝金をお支払します)

